

令和 1 年度自己評価報告書



2019 年 6 月 1 日

■ 園の概要

当園は、埼玉県越谷市に昭和47年4月に学校法人として開園しました。

長年、産業道路沿いの「ピンク色の幼稚園」として子ども達の目ひく園舎にて幼児教育を行ってきました。平成25年4月、園舎の老朽化や交通量の多い道路事情を考慮し、よりよい教育環境をめざし川柳町へ移転、新築いたしました。

待機児童の増加という現在の子育て事情を鑑み、「少しでも、地域の子育て環境を良くしたい。」との思いから、保育園部門を設置し「認定こども園」として同年開園致しました。

平成27年「子ども子育て新制度」に伴い、幼稚園部門・保育園部門が統一され、新たなスタートを切っております。

■ 本園における園評価のねらい

- 学校評価を実施することにより、より良い保育や園行事・園運営の充実に生かしていきたいと考えております。職員の自己評価や、外部の皆様に意見を出して頂くためのアンケート調査を行い、前年度よりも内容の濃い園評価を実施していきたいと思っております。

学園理念

【教育目標】

つよい体やさしい心の子どもに育てる。

【保育目標】

家庭的保育かつ集団生活における教育の中で一人一人がいきいきとした生活を送る。

【経営理念】

子ども・保護者・教職員に対するサービス心の経営。

基本方針

総合的な経験や具体的な活動を通して、情緒の安定した安全な生活を送り、心身の健全な発達を図る。子育て付加事業により、保護者の思いをサポートしながら、子育て環境の活性を図り社会的役割を果たす。

教育目標

- 一、心身共に健康で明るい子ども
- 一、がまん強く、頑張りのきく逞しい子ども
- 一、優しく素直で、思いやりのある子ども
- 一、ご挨拶の出来る子ども

<p>保育の計画性</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 学園理念や保育・教育目標 □ 5領域 10の姿の理解 □ 指導計画の作成 □ 環境構成 □ 評価・反省
<p>【目標・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 一人一人の個性や発達状態を見て、その子どもにあった指導計画を考え保育する。 □ 振り返りを大切にし、継続のある計画を立てていく。 □ 個々の発達段階を把握し、主体的に遊び込める環境を設定し展開させていく。 □ 保育室を清潔に保つ 	
<p>【よく出来たこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 子ども達が興味関心を持ったことを大切にし、失敗しても諦めない心を育てられるように心掛けた。 □ 見通しを持っての準備が出来たり、新しい取組等、保育者自身も楽しみながら保育することが出来た。 □ 担任同士、子ども達の様子や遊び・生活における進め方を話し合いながらクラス運営をすることが出来た。互いに良さを認めることが出来た。 □ 年間カリキュラムと教育のめやすをもとに環境構成をしていく事が出来た。遊ぶ時間を十分に確保し、一人ひとりが伸び伸びと過ごし、他者と関わりを持てるよう援助した。 □ 保育補助として、疑問に思ったことへの質問、行動を的確にい、保育への共有・共感をしながら動くことができた。 	
<p>【課題と思ったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 子ども達がやりたいという遊びの準備は出来たが、もっと発展出来るように工夫していく。 □ 余裕を持った保育を心掛けたが、行事の時期だと時間に追われてしまう事が多く感じた。 □ 玩具の数が限られていたり、活動を用意しても、保育者が常につくことが出来ず、中途半端になってしまった。 □ 活動の時間が過ぎてしまい、バタバタとしてしまうことがいくつかあったので見通しをもって活動したい。 □ 指示を待つしまったり、職員が多く、人によっては指示の内容が違うこともあったので、一つ一つ確認することが大切だと感じた。 	

<p>保育の在り方</p> <p>こどもへの対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 健康と安全の対応 □ 子どもとの信頼関係 □ 保育者同士の協力・連携 □ 支援を必要とする園児への取り組み
<p>【目標・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 子ども一人ひとりとスキンシップをとったり、得意なことを伸ばしたり、苦手なことに挑戦できるようにしながら、信頼関係を築けるようにした。 □ 子ども達の話をよく聞き、1人ひとりを理解しよう意識しながら関わる。 □ 子ども一人ひとりの良さを認め、ありのままの姿を愛情を持って受け止めていく。 □ 体調変化や小さなサインにも気がつけるようにする。 	
<p>【よく出来たこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 個性を認め、伸ばしながらもいけないことはいけないと伝える等、メリハリを持って接することが出来た。 □ 毎日視診をし、一人ひとりの様子を観察してその子に合わせた声掛けや援助のやり方を工夫した。 □ 日々の様子で気になることがあれば、都度メモをとり記録として残した。 □ 日々の保育の中での子どもの成長した部分や出来たことなどを保育者同士で伝え合ったりすることで、一人ひとりの理解につながる事が出来た。 □ 自分自身も子ども達をとりまく環境と捉え意識して保育を行えた。 □ 気になる子に目を向け、一対一で関わる時間を増やしたり、研修に参加してよりその子にあった声掛けや保育を考えることができた。 	
<p>【課題と思ったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 子どもの病名についての知識が不足、この症状がでたらこの病名の疑いがあるなど、細かなことにも気がつけると思う為、もっと勉強しようと感じた。 □ 「こうなってほしい」という思いが強く、保育に現れてしまい子ども本意の保育を行えない日もあった。 □ 子ども主体での保育であったり、子どもの気持ちに寄り添った保育の中での言葉の掛け方、雰囲気作り方であったりをもっと勉強していく。 □ すぐに対応できないときは、他の保育者への連携をとるが、上手く伝わらずにいることがあるので、はっきりした言葉で伝えていきたい。 	

保育者としての
資質と能力

- 専門家としての能力・姿勢・義務
- 組織の一員としての在り方
- 保育の楽しみ・喜び

【目標・取り組み】

- 専門家としての意識をしっかりと持ち、常に向上出来るよう、学び吸収していく。
- 保育者・先生の恥じない振る舞いや言葉づかいで生活する。
- 1つ1つの物事を多面的に見て、素早く判断していく。
- 保育経験の多い少ない関係なく、素直な意見交換をして、保育の質を向上させ、専門的な力量を少しずつ高めていく。
- 向上心を持ち続け、子どもの最善の利益を考えた保育を心掛け、他職員と思いを共有する。

【よく出来たこと】

- 子どもの様子、悩みなど学年の先生方との意見交換などする機会も多く持て、自分のクラスは勿論、他のクラスの状態等も共有することが出来た。
- 子どもの思いや姿を捉えながら、臨機応変に保育できた。
- 子どもや保護者の前で、常に正しい言葉づかいを心掛けることが出来た。
- 周りの保育者や事務の先生とも連携を図り、尊敬の念を持って接した。
- 担任保育士（リーダー）の必要としているサポートは日々異なるので、コミュニケーションを取り、何が必要かを聞いて、対応した。
- 保育者としての専門性を生かし、子ども達が楽しめる保育が出来るよう環境設定等を日々変えた。

【課題と思ったこと】

- 年々子どもの質、個人差の開きを感じる。加配が必要と思われるが、一層職員の連携が必要不可欠。
- 会議などの意見交換場で、自分の意見や考えをもっと持てるようにし、伝えられれば良いと感じる。
- 常に疑問を持ったりして保育の見直しに役立てていきたい。
- 落ち込んだ時や失敗をした時には、中々気持ちが切り替えられず引きずってしまう。
- もっと学び、知識・技術を増やし向上する事が出来たと思う。

<p>保護者への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 情報の発信と受信 □ 守秘義務の遵守 □ マナー・心構え □ 要望への対処の仕方
<p>【目標・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 保護者の多様な価値観を受け止め、共感的に寄り添い、配慮している姿勢を示し、子どもの成長・発達のために、何をどのようにするといいか保護者と共に考えていく。 □ バス通園の保護者の方には中々お会いする機会がないので、なにかあった時には、日々の子どもの様子をしっかりと伝え、家庭での悩みなども連携を取って解決する。 □ 子どもの成長を共に喜び、寄り添える存在となれるよう努める。 □ 連絡ノートや直接の会話の際の言葉遣いに気をつける。 	
<p>【よく出来たこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 保護者からの問い合わせはその日に返答し、難しい場合は次の日までになるべく早く返答できるよう心掛けた。 □ 家庭での様子を聞きながら園での課題を伝えて一緒に考えていけるようにし、その後の様子も伝えるようにした。 □ その日にあったことや、話したことを保護者へ伝えつつ、家庭の様子なども聞けていた。自分の育児経験談なども話しつつ、一緒に解決法を考えた。 □ 保護者の表情をよく観察し、聞きたい事や、不安に思う事を汲み取れるように落ち着いた対応を意識した。 	
<p>【課題と思ったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 悩みの中で、こうしたらよい、こうしたら子どもがもっと楽しくできるようになるほどの引き出しを増やせば良いと感じた。 □ 電話などでは伝わりにくいこともあった為、話す内容をしっかりと整理してから伝える努力をする。 □ 職員間で同じ対応が取れるよう伝達を丁寧に行い、保護者が安心して子どもを園に通わせることの出来るようにしていく。 □ 保護者からの質問などに対して、迅速な対応が出来ないことがあったので、きちんと対応できるようにしていく。 □ 言葉づかいを気をつけるように意識したが、ふとした時にフランクな言葉を使ってしまったので、今後意識を高めて気をつけていくように努力をする。 	

<h2>研修と研究</h2>	<ul style="list-style-type: none"> □ 研修と・研究への意欲・態度 □ 保育士としての専門性に関する研修・研究 □ 今、自分に必要な課題に関する研修・研究
<p>【目標・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 専門性を高める為に積極的に研修に参加し、それを消化し、他の先生方と共有出来るようにする。 □ 様々な研修に参加し、自分の保育を見つめ直し、より良い保育が出来るようにする。 □ 自分の保育を素直に振り返る姿勢を持ち、それを言葉で表現できるようにし、保育者同士で課題や理解を共有していく。 □ リーダーになっている物の研修意外にも参加し、自分自身のスキルアップを目指すと共に、学んできた事の振り返りを大切にし、日々の保育に生かす。 	
<p>【よく出来たこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 積極的に研修への参加をした。研修を受けるだけでなく、本園に持ち帰り、実行出来ることはして、自分の思いと共に他職員に発信したり、共有したり出来た。 □ 自分が知りたいと思ったこと、学びたいと思ったことを勉強し保育に役立てることができた。 □ 研修で学んだことを園内研修としてロールプレイを使って伝えることが出来た。その中で仲間とも相談して進めていくことが出来た。 □ 自分の考え方と異なった考え方を知る事で、違った保育を想定したり考える機会になった。 □ 研修に参加することで、自分の保育を見つめなしたり、新しい知識や考えを知ることが出来た。 	
<p>【課題と思ったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 行きたい研修の日程が行事と重なっている事が多々あり、シフト調整が難しい。 □ 年齢に応じた行事の絵本を探すことや、読み方を工夫することをしてはいたが、自分で絵本や紙芝居、視覚教材を作れるとよいと感じた。 □ 自分の興味・関心があることに対して勉強をすることは出来たものの、保育業務との両立は難しく思うように時間が取れなかった。 □ 様々なことに関心を持ち、自主的に勉強し、保育の意識を高めていきたい。 □ 研修後の振り返りをもっとじっくりと行い、早い段階で先生方と共有するべきだった。 □ 技術や知識がまだまだ足りないと感じているので、今後も積極的に研修へ参加し、自分の引き出しを増やしていきたい。 	

以上

全教職員への周知・園内掲示・令和2年HP上への公開を行うものとする。